

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : 硝酸プラセオジム(III)六水和物  
 会社名 : 関東化学株式会社  
 住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1  
 担当部門 : 試薬事業本部 企画管理部 資料課  
 電話番号 : 0120-260-489  
 FAX番号 : (03)3241-1047  
 メールアドレス : BC32@gms.kanto.co.jp  
 整理番号 : 32637

### 2. 危険有害性の要約

#### G H S 分類

##### 物理化学的危険性

火薬類 : 区分外  
 可燃性固体 : 区分外  
 自然発火性固体 : 区分外  
 自己発熱性化学品 : 区分外  
 酸化性固体 : 区分 3

##### 健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外  
 皮膚腐食性・刺激性 : 区分 2  
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2 A

#### 絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 火災助長のおそれ：酸化性物質  
 皮膚刺激  
 強い眼刺激

#### 注意書き

安全対策 : 热源から遠ざける。  
 可燃物から遠ざける。  
 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。  
 使用後は保護具をよく洗う。

救急処置 : 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。  
 皮膚に付着した場合：汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。皮膚刺激が生じた場合は、医師の処置を受ける。  
 取り扱った後、手を洗う。

保管 : 可燃物から離して保管する。

廃棄 : 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

### 3. 組成及び成分情報

单一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: 硝酸プラセオジム(III)六水和物
成分及び含有量	: 硝酸プラセオジム六水和物 99.95%以上
化学特性 (示性式)	: Pr (NO <sub>3</sub> ) <sub>3</sub> · 6H <sub>2</sub> O
官報公示整理番号	
化審法	: 1-784
安衛法	: 公表
C A S N o .	: 15878-77-0
危険有害成分	: 硝酸プラセオジム(III)六水和物

### 4. 応急措置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	: 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
目に入った場合	: 直ちに流水で15分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤	: この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤	: 特になし
特定の消火方法	: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
-----------------------	---

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように適切な保護具を着用する。有機物、いおう、りんなどの可燃性物質と混合しないようにする。
保管	
適切な保管条件	: 容器は密栓して冷蔵保存する。(0-6°C) 可燃物を近くに置かない。
安全な容器包装材料	: ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

### 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会 (2009年度版)	: 設定されていない
ACGIH (2009年度版)	: 設定されていない

**保護具**

- 呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防じんマスクを着用する  
 手の保護具 : 不浸透性保護手袋  
 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

**9. 物理的及び化学的性質**

- 形状 : 結晶  
 色 : 黄緑色  
 臭い : 無臭  
 沸点 : 分解  
 融点 : 分解  
 引火点 : 不燃性である  
 密度 : データなし  
 溶解性  
   溶媒に対する溶解性 : 水 ; 易溶  
   有機溶媒 ; エタノールに易溶

**10. 安定性及び反応性**

- 安定性 : 通常条件で安定である。  
 反応性 : 粉末状の可燃物と混合したものは、加熱、衝撃により激しい燃焼または爆発を起こすことがある。  
   還元剤と接触すると反応することがある。  
 混触危険物質 : 酸化剤  
 危険有害な分解生成物 : 窒素酸化物

**11. 有害性情報**

- 急性毒性 : 経口 : 区分外  
   経皮 : データ不足のため分類できない  
   吸入 (蒸気) : データ不足のため分類できない  
   吸入 (粉塵・ミスト) : データ不足のため分類できない  
   ラット 経口 LD50=3500mg/kg  
 皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚に対して刺激性がある(区分2)  
   皮膚に対して刺激性があるので、区分2とした。  
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼に対して強い刺激性がある(区分2A)  
   眼に対して刺激性があるので、区分2Aとした。  
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない  
   皮膚感作性 : データ不足のため分類できない  
 生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない  
 発がん性 : データ不足のため分類できない  
 生殖毒性 : データ不足のため分類できない  
 特定標的臓器・全身毒性－単回暴露 : データ不足のため分類できない

多量に経口摂取すると、血圧低下、メトヘモグロビン血症、頭痛、めまいなどを起こすことがあるが、データ不足のため分類できない。

#### 特定標的臓器・全身毒性－反復暴露

：データ不足のため分類できない

#### 吸引性呼吸器有害性

：データ不足のため分類できない

### 12. 環境影響情報

#### 生態毒性

魚毒性 : 水生毒性（急性）：データ不足のため分類できない

水生毒性（慢性）：データ不足のため分類できない

#### 残留性／分解性

：データなし

#### 生態蓄積性

：データなし

### 13. 廃棄上の注意

#### 残余廃棄物

：多量の水で希釈して、pHを中性に調整した後、下水に流す。不溶物はろ過して埋め立て処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

#### 容器

：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国内規制

消防法 : 危険物第1類酸化性固体硝酸塩類第3種酸化性固体

道路法 : 施行令第19条の13（通行制限物質）

船舶安全法 : 危規則第3条危険物告示別表第1酸化性物質類

航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1酸化性物質類

国連分類 : クラス5.1（酸化性物質）等級III

国連番号 : 1477

#### 輸送の特定の安全対策及び条件

：輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

緊急時応急措置指針番号 : 140

#### 海上規制情報

UN No. : 1477

Proper shipping name : NITRATES, INORGANIC, N.O.S.

Class : 5.1

Sub risk : -

Packing group : III

Marine pollutant : Not applicable

#### 航空規制情報

UN No. : 1477

Proper shipping name : Nitrates, inorganic, n.o.s.

Class : 5.1

Sub risk : -

Packing group : III

### 15. 適用法令

消防法	: 危険物第1類酸化性固体硝酸塩類第3種酸化性固体 (1000 kg)
化学物質管理促進法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 施行令別表第1危険物 (酸化性の物)
船舶安全法	: 危規則第3条危険物告示別表第1酸化性物質類
航空法	: 施行規則第194条危険物告示別表第1酸化性物質類
港則法	: 施行規則第12条危険物告示酸化性物質類

## 16. その他の情報

引用文献	化学大辞典 共立出版社 (1963) Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed. N. I. Sax他編 Van Nostrand Reinhold Company (1984)
------	---

\* この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート (SDS) は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート (MSDS) と記載事項は同一です。